

課長	係長	係員

伺 下記のとおり支給して

介護休業手当金の支給日数は
通算で66日が上限です。

介護休業手当金請求書 (260)

下記のとおり請求します。

茨城県市町村職員共済組合理事長 様

請求 期 間	及 び 金 額	令和〇〇年〇〇月〇〇日から	決 定 金 額	円
		令和〇〇年〇〇月〇〇日まで		
		125,480		円

請求日	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日						所属所	〇 〇 市 役 所		
組合員証 記号番号	1	1	1	-	1	1		1	1	1
組合員 氏名	共済 太郎						短期標準 報酬の月額	25 等級 470,000 円…A		
要介護者 の氏名	共済 梅子 (続柄 母)						住所	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇		

祝日は支給対象になりません。

介護休業承認期間	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日から 令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日まで									
今回請求分	曜 日	金	土	日	月	火	水	木	支給 開始日	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日から
令和〇〇年 〇月分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日まで
請求回数	15	16	17	18	19	20	21	22	23	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日まで
〇 回目	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日まで
該当日に〇印を付する	29	30	31							

【給与支払に関する証明】

請求月の報酬については下記のとおりあることを証明する。

請求月の報酬額 (本来の支給額)

減額の対象となる手当等	減額対象外の手当		
給料	370,800 円	扶養手当	10,000 円
給料の調整額		住居手当	27,000 円
地域手当	37,080 円		

勤務しなかった期間に対し支払われた報酬の額 (裏面参照)

17,630 円…E

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

給与事務担当者

職名

〇 〇

氏名

〇 〇 〇 〇

(支給額の計算)

標準報酬日額

$$A \times 1/22 = \frac{21,360}{(10円未満四捨五入)} \text{円}\dots B$$

支給日額

$$B \times 67/100 = \frac{14,311}{(円未満切捨て)} \text{円}\dots C$$

※支給日額が上限額を超える場合は、上限額を記入

給付額

$$C \times 10 \text{日} = 143,110 \text{円}\dots D$$

支給日額が上限額を超える場合は上
限額を記入してください。
※上限額は毎年8月に見直されます。

125,480 円

上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。

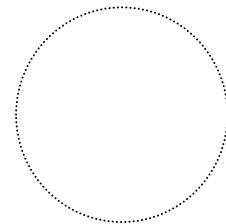
令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

職名 〇 〇 市 長

所属所長

氏名 〇 〇 〇 〇

受付印



1. 太線の中を記入してください。
2. 介護休業承認請求書の写し又は辞令の写しを添付してください。
3. 所属所長及び給与事務担当者の証明を受け、提出してください。
4. 請求書は1月につき1枚ずつ作成してください。
5. 任意継続組合員は請求できません。

介護休業承認請求書の写し又は
辞令の写しを添付してください。

【勤務しなかった期間に支払われた報酬の額】

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> $\frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 1 \text{日}}{\text{介護休暇を取得した月の要勤務日数}}$ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%; padding: 5px;"> $\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額※円未満四捨五入} \rangle}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$ </td> <td style="width: 10%; text-align: center; padding: 5px;">×</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> $\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle$ </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> $- \frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$ </td> <td></td> <td style="padding: 5px;"> $\times 7 \text{時間}45 \text{分}$ </td> </tr> </table> </div> <div style="text-align: center; font-size: small; margin-bottom: 10px;"> ※網掛け部分がマイナスとなった場合は0円とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> $+ \frac{\text{減額対象外の手当} \times 1}{22}$ </td> <td style="width: 40%; text-align: right; padding: 5px;"> (円未満切捨て) </td> </tr> </table> </div>	$\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額※円未満四捨五入} \rangle}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$	×	$\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle$	$- \frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$		$\times 7 \text{時間}45 \text{分}$	$+ \frac{\text{減額対象外の手当} \times 1}{22}$	(円未満切捨て)	× 介護休暇取得日数
$\frac{\langle \text{勤務時間1時間当たりの給与額※円未満四捨五入} \rangle}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$	×	$\langle \text{1日当たりの勤務時間} \rangle$							
$- \frac{(\text{給料月額} + \text{減額の対象となる手当}) \times 12 \text{月}}{7 \text{時間}45 \text{分} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週}}$		$\times 7 \text{時間}45 \text{分}$							
$+ \frac{\text{減額対象外の手当} \times 1}{22}$	(円未満切捨て)								

※ 上記の介護休暇により勤務しなかった期間の給与額の算定方法(減額方法:網掛け部分)は、国家公務員の例です。勤務時間1時間当たりの給与額の算定方法等が条例と異なる場合は、条例による算定方法にて算出してください。

条例による算定方法にて、勤務しなかった期間に支払われた報酬の額を算出してください。

※通勤手当は原則として調整対象外

下記のとおり 別紙のとおり 請求月の給与の支給なし

【計算例】

- ・ 介護休暇を取得した月の要勤務日数・・・20日
- ・ 介護休暇取得日数・・・・・・・・・・・・・10日
- ・ 減額の対象となる手当等・・・407,880円 (給料月額：370,800円 地域手当：37,080円)
- ・ 減額対象外の手当・・・・・・・・・・・・・37,000円 (扶養手当：10,000円 住居手当：27,000円)

$$\begin{aligned}
 & (407,880 \text{円} \div 20 \text{日} - \frac{407,880 \text{円} \times 12 \text{月}}{7.75 \text{時間} \times 5 \text{日} \times 52 \text{週} - 7.75 \text{時間} \times 19 \text{日}} \times 7.75 \text{時間} + 37,000 \text{円} \div 22 \text{日}) \times 10 \text{日} \\
 & = (20,394.00 - \frac{4,894,560}{1867.75} \times 7.75 + 1,681.81) \times 10 \\
 & \quad \text{円未満四捨五入} \\
 & = (20,394.00 - 2,621 \times 7.75 + 1,681.81) \times 10 \\
 & = \frac{20,394.00 - 20,312.75}{\text{マイナスの場合0円}} + 1,681.81 \times 10 \\
 & = \frac{81.25 + 1,681.81}{\text{円未満切捨て}} \times 10 \\
 & = 17,630 \text{円} \quad \leftarrow \text{勤務しなかった期間に支払われた報酬の額}
 \end{aligned}$$